

事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
②学校と地 域の課題	03 学校支援 ボランティア の確保・育 成	多様化する学校業務の中 で、教職員の勤務負担の軽 減、地域と子どものつながり の強化のため、市内におい て学校支援ボランティアへ の需要が高まっており、それ に応える人材の確保が課題 となっている。	福祉部署及び福祉団 体との連携協議、情報 交換の機会を持った。	学校支援ボランティアの活動に関 する周知活動、関係機関等との情報交 換の機会を増やす。	学校支援ボランティアの活動 に関する周知活動、関係機 関等との情報交換により、ボ ランティア人材を広く募集し、 登録者を増加させる。	ボランティア登録 者数	54	人	60	70	コーディネーターが中心となり、地域ボランティアと学 校を結びつける本事業は、教職員の多忙化や、学校 の働き方改革の観点などから、その需要は年々高まっ ており、またボランティアにとっても子どもや学校とふれ あうことがやりがいにつながっていることから、学校、 ボランティア双方にとって効果の高い事業である。 この活動をより活性化させるため、ボランティアの輪を 広げていくことを目標とし、福祉団体等との情報交換 や、放課後子ども教室事業との事業間の連携により、 ボランティア増加につなげることができた。 今後も、ボランティアの輪を広げる活動を継続し、より 多様な人材の確保に取り組んでいきたい。
②学校と地 域の課題	02 青少年の 健全育成	コロナ禍や核家族化等の社 会情勢の変化により、子ど もたちと地域のつながりの 希薄化、地域の教育力の低 下が課題となっている。	体験教室(土曜チャレ ンジ)の開催	地域ボランティア等による体験教室 (土曜チャレンジ教室)の開催回数・ 内容を検討し、地域ボランティアと子 どもたちの交流を促進させる。	地域ボランティア等による体 験教室(土曜チャレンジ教室) を開催し、地域の大人と子ど もがふれあう機会を創出す る。	地域ボランティア 等による体験教室 (土曜チャレンジ教 室)の参加延べ人 数	261	人	300	395	市内の放課後子ども教室を支える地域ボランティアが 中心となり、地域の子どものために、様々な体験 教室を行っている本事業は、地域の大人と子どもたち の交流を促進させている。 今年度は、複数校区合同で開催するため、学校行事と の調整により開催ができなかった時期もあり、開催回 数は減少したが、一度に多くの人数が参加できる企画 などを実施することで、参加者数は増加した。 今後は、参加しやすい開催日と内容を検討し、かつ地 域の方と子どもたちに交流が促進される教室を提供で きるよう取り組んでいきたい。